3
March 2013
第707号
平成25年3月1日発行
（毎月1日発行）

［広報］

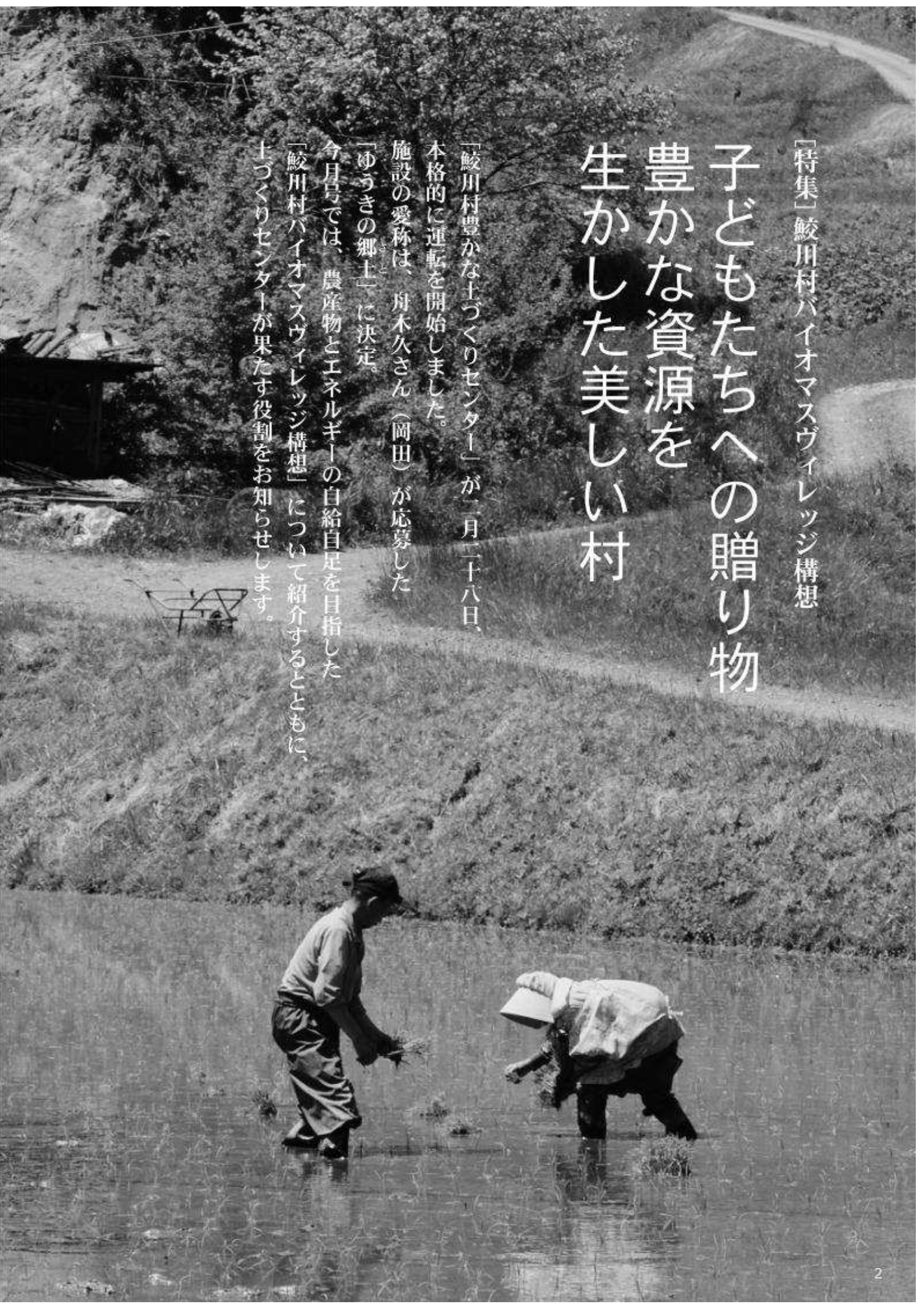
さめがわ

Public Relations SAMEGAWA

［特集］鮫川村バイオマスヴィレッジ構想

子どもたちへの贈り物
豊かな資源を
生かした美しい村





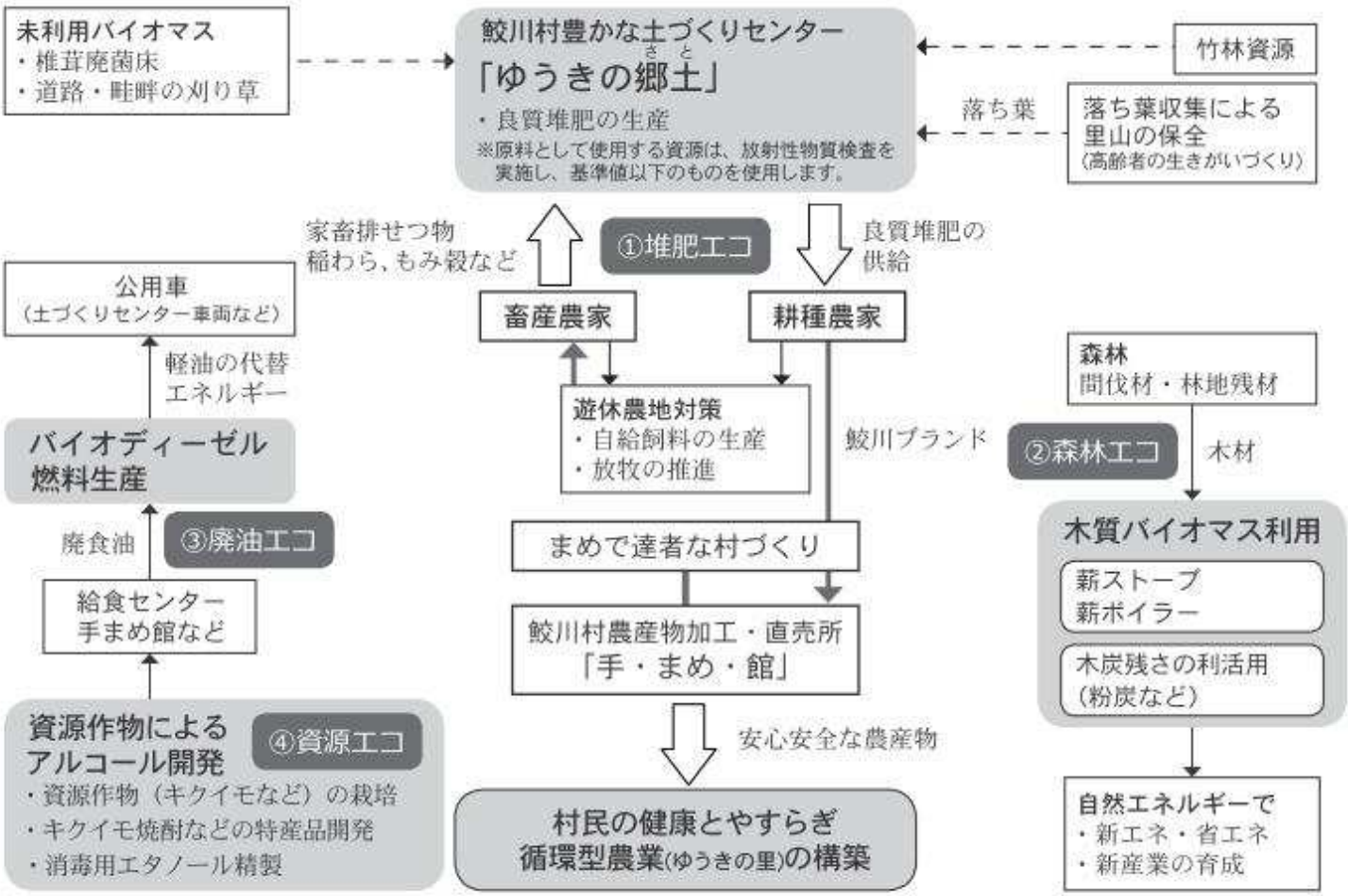
［特集］鮫川村バイオマスヴィレッジ構想

子どもたちへの贈り物 豊かな資源を生かした美しい村

「鮫川村豊かな土づくりセンター」が一月二十八日、本格的に運転を開始しました。施設の愛称は、舟木久さん（岡田）が応募した「ゆうきの郷（さと）土（つち）」に決定。

今月号では、農産物とエネルギーの自給自足を目指した「鮫川村バイオマスヴィレッジ構想」について紹介するとともに、土づくりセンターが果たす役割をお知らせします。

■村バイオマスヴィレッジ構想相関図



私たちの暮らしを豊かにする「バイオマスヴィレッジ構想」

資源循環型社会を目指して

現在、鮫川村は第三次振興計画に基づき「まめな暮らしが育む環境を生かしたやすらぎとふれあいの村づくり」を基本理念として村の基幹産業である農業の六次産業化を図るため、「まめで達者な村づくり事業」「ゆうきの里づくり事業」を推進しています。

そのような取り組みの中、鮫川村そのものをブランド化し自立する元気な村づくりを進めるため、平成二十年九月に「鮫川村バイオマスヴィレッジ構想」を公表しました。バイオマス資源を活用した村内完結型の資源循環型社会を構築し、将来にわたって美しい鮫川村をのこしていくことを目指しています。そのための具体的な取り組みとして、主に四つのバイオマスの利活用があります。

1 畜産堆肥などを生かした土づくり

村内に豊富に存在する家畜の排せつ物や落ち葉、もみ殻などを利用し、良質な堆肥を生産します。また、この堆肥を使い農薬や化学肥料を減らした安心安全な農産物を生産します。さらに、製品化した堆肥は村農産物加工・直売所「手・まめ・館」で販売することを検討しており、農家だけでなく一般家庭での家庭菜園やガーデニングなど、幅広い利用を期待しています。

村では、使用するバイオマス資源および製品化した堆肥に対して放射性物質検査を実施します。

現在、家畜の排せつ物については、ほとんどのものが放射性物質不検出という結果になっています。これは、酪農家では与えるエサに対して県酪農業協同組合が放射性物質不検出のもの以外与えてはいけないという基準を設けているほか、村独自に和牛農家に対して行っている輸入乾草飼料の配布、放牧の規制などの

● バイオマス

自然界の営みの中で発生する再生可能な資源の総称。身近に存在するバイオマスとして、家畜の排せつ物や生ごみ、稲わら、もみ殻、落ち葉、廃食油などがあります。



村内の豊富な資源を生かして エネルギーと農産物を自給自足

取り組みによるものです。また、製品化した堆肥ついては農林水産省が設ける基準により、一キログラム当たりの放射性物質が四〇〇ベクレル以下のものが流通します。

村にある資源を利用し、農業の基本である「土づくり」を実践。そして、安心安全な農産物を生産、販売することが、それを消費する村民の健康増進に結びつきます。また、村内産の堆肥を使った農産物をブランド化することで市場価値を高め農家の所得向上を図ります。





1　2月28日に開所式を行った「鮫川村豊かな土づくりセンター・ゆうきの郷土」／2　廃食油からバイオディーゼル燃料を作る精製機／3　間伐材を利用している「さぎり荘」の新ボイラー

2 間伐材などの木質バイオマス

森林エネルギーを有効活用することで化石燃料を減らし、地球温暖化防止に寄与することを目指しています。

村内の間伐材や林地残材を集め、薪として利用。村民保養施設「さぎり荘」の薪ボイラーの熱源とし、主に温泉の昇温や給湯、床暖房に活用しています。

今後、村内森林から出た間伐材などを村が買い取り、加工、販売していくことを検討しています。これにより、個人林家の所得を確保するとともに森林の保全に結びつくことが期待されます。

3 廃食油からBDFを精製

平成二十二年から取り組みが始まっています。村内の家庭や食堂などから出る廃食油を収集し、バイオディーゼル燃料（BDF）に精製。この燃料は学校給食配送車に利用されています。

4 資源作物によるアルコール開発

増加している耕作放棄地などの解消を図るとともに、新たな村の特産品を開発することで、さらなる村の活性化を目的としています。

資源作物となるキクイモは、東京農業大学によりさまざまな実地検証が行われ、本村に適していることが分かりまし



大樂勝弘 村長

村を支える産業と美しい農村景観、村民の健康を守るため

村長に就任した当時、遊休農地が目立っていました。農作物を作れば作るほど、農家が赤字を抱えている状況でした。そこで、農家の人に少しでも元気になってもらおうと始まったのが「まめで達者な村づくり」。これを続けているうちに、村外から足を運んでくれる人が増えました。その１つの要因は、遊休農地が減少したことにより、農家自らが「鮫川村が少しずつきれいになった」という意識を持ち始めたことです。農村景観というのは、田んぼ、畑が整然と耕されていることなのです。この里山景観を守るために、もう１歩前に出ようと始まったのが「ゆうきの里づくり」です。

また、昔は５から10頭の畜産農家がほとんどで、どこの家でも複合型農業を営んでいました。しかし、今では大規模経営でないと成り立たない状況で、昔ならば自家消費できていた堆肥も現在のような多頭化飼育では処理しきれません。この産業廃棄物となってしまった堆肥を有価物に変えようというのが「バイオマスヴィレッジ構想」です。村の畜産を守る上でも重要な事業です。

ものづくりは土づくり。いい作物を作るためには、いい土を作らなければいけません。いい土とは、良質な堆肥がたくさん使われている土。それを使うことで、化学肥料や農薬を抑えて作物を作ることができます。そして、健康にいい安心安全な農作物を食べることができます。農薬にはガンの誘発物質、化学肥料には硝酸態窒素が多く含まれています。いずれにしても、それらが含まれた作物を摂り続けることで内臓に蓄積し、ガンを誘発する原因となる恐れがあります。

問題なのは、作った安心安全な野菜をどのように売るのかです。これが今後の課題になります。村全体で取り組み、消費者にしっかりとアピールしていく必要があります。そのために、都市と交流することで村や商品を理解してもらうことが大切だと考えます。

農業はとても重要な産業。食べ物を生産し、健康と命を支えている産業なのです。農家の皆さんが農業に誇りを持ち、農業で自立できるような村づくりをしていきたいと考えています。

た。これまでに、「キクイモ焼酎」が製品化され販売されています。

自然環境を守り誇りを持てる村に

この構想では、村内の豊富な資源を生かしエネルギーと農産物の自給自足を目指しています。農村は、農業の営みによって守られます。村全体が人と自然にやさしい農業に取り組むことで、自然環境を守り、村民が村に誇りを持って安心して生活できる村づくりを進めていきます。

しかしながら、放射能の影響により農地や山林などが汚染され、堆肥づくりの原料となる落ち葉が利用できずにいます。落ち葉に付着している地元土着菌を活用できなばかりでなく、落ち葉さらいによって得られたであろう高齢者の所得確保や獣害対策などの効果も見込めません。今後、復興に向けて除染を実施し、震災前の美しい村に戻すことで循環型社会の確立を図る必要があります。

土づくりセンター稼働で循環型社会へ一歩前進

バイオマスヴィレッジ構想の核となるのが、先に述べた畜産堆肥などを利用した土づくりです。これを担う施設として、バイオマス変換施設「鮫川村豊かな土づくりセンター・ゆうきの郷土（さと）」が二月二十八日に運用を開始しました。

平成十八年から検討を繰り返し、平成二十二年に着工。東日本大震災および原子力発電所の事故により工事が一時中断しましたが、このほど開所を迎えました。

本構想の総事業費は約四億円。そのうち、約三億円が土づくりセンターに関わる事業費となっています。財源は国県の補助金を活用しており、村一般財源からは総事業費の約一五パーセントとなる六千万円を支出しました。

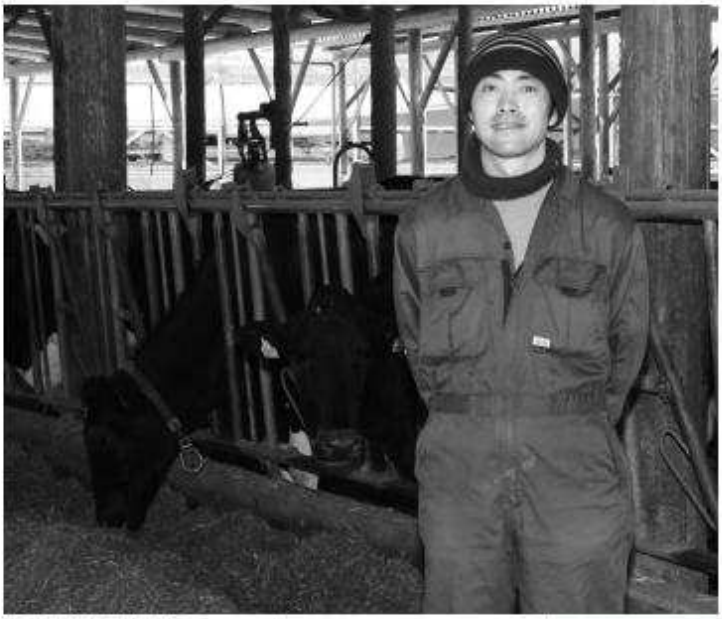
この施設が、将来にわたり村の農業振興のシンボルとして親しまれ、本村農業の振興と循環型社会の形成を担う施設となることを期待します。

土づくりセンターに寄せる期待

土づくりセンターに関わる畜産農家、耕種農家、そして消費者である村民の皆さん。それぞれの立場から見る土づくりセンターとそこに寄せる期待について、4組の方々に話を伺いました。あなたにとって、土づくりセンターはどんな施設ですか。



水野洋子さん
みずのようこ／広畑



有限会社関根ファーム
関根 靖さん　せきねやすし／土路部

VOICE 01
畜産

家畜排せつ物処理の手間省いて規模拡大を検討

県の効果

子

内二番目の牛乳出荷量を誇る有限会社関根ファーム（西山字土路部）。代表を務めるのは関根靖さん。現在、関根ファームでは約二六〇頭の乳牛を飼育しており、一日当たり約四四〇〇リットルの牛乳を出荷しています。

靖さんは土づくりセンターに大きな期待を寄せています。「今の畜産は規模を拡大していかないと経営が成り立たないという状況です。しかし、頭数が増えれば排せつ物も増え、その処理にまで労力を費やさなければいけません。土づくりセンターが稼働することで、その手間が少しでも減ることはとても助かります」

関根ファームでは、一日当たりダンプ二台分以上の排せつ物が出ます。これを堆肥舎に運び切り返し作業を行い、デントコーン畑の肥料として活用しています。しかし、排せつ物が堆肥舎いっぱいになり、切り返しをするスペースを作れない状態です。

「土づくりセンターが稼働し、自分たちで堆肥を作る手間を省ければ、今後頭数を増やすことも考えています。また、堆肥舎に余裕ができることで自家消費用の堆肥もいいものが作れると期待しています」



早朝から夕方まで牛舎で乳牛の世話をします

どもが食べることも考えると、新鮮で安心して食べられる物を購入したいです。「手まめ館」に売っている物は安くて新鮮で、とても助かっています。土づくりセンターができることで、農薬や化学肥料を減らしたより安心安全な野菜を「手まめ館」で買えるようになるならば、さらに利用したいですね。

また、この取り組みを広く

VOICE 02
消費者

農家だけじゃない 村民と村にとって



武藤仁子さん
むとうじんこ／内ヶ竜

私たちのような農業をやっていない人も土づくりセンターで作った堆肥を利用できるならうれしいですね。化学肥料は悪いといわれても肥料がないと作物はできないので使わざるを得ませんでした。しかし、それを使わずに地元のもので作った堆肥を利用できることは最高です。昨年はゴーヤを栽培して佃煮を作りました。今年はゴーヤのほかにピーマンも栽培したいと思っているので、ぜひ使いたいと思います。

また、若い人たちの農業離れが問題になっていますが、基礎となる土づくりを村がまとめてやることで農業を始める人が増えてほしいです。子育てや仕事が忙しい中、一から全部やることは大変だと思います。しかし、土づくりの手間が減ることで、休日などに農業をやることも可能になるのではないでしょうか。農業をなくさないためにも、そうなってほしいと思います。

村内外にアピールしてほしいです。そして、さらに生き生きとした村になって、子どもたちが「鮫川村に居たい」と自信を持てるような村になってほしいと思います。

VOICE 03
農家

村内産の良質堆肥で 農家の意識変化を期待



矢吹廣信さん・テル子さん
やぶきひろのぶ・てるこ／横座

二十九年前からビニールハウス栽培を行い、有機栽培に十年前から取り組んでいる矢吹廣信さん・テル子さん夫妻。約二〇アールのビニールハウスでトマトやホウレンソウ、ネギを栽培し「手まめ館」などに出荷しているほか、自家消費用として大根やニンジンなど十数種類の農作物を栽培しています。無農薬で栽培しているホウレンソウは「甘い」と好評です。

「農業は土づくり。土台となる『土』をしっかり作らないと作物はできない」と話す矢吹さんのビニールハウスでは、ホウレンソウの収穫が終わった四月初めに堆肥を入れて土を耕します。堆肥のほかに、米ぬかや石灰をふり、農薬を使うことはほとんどありません。使う堆肥についても、雨に二、三回あてて中の塩分を流し出します。なるべく塩分をビニールハウスの中に入れないように心がけています。

「土づくりセンターが稼働して堆肥が完成すれば、ぜひ利用したいと考えています。この取り組みで、いい土づくりができることによって、村内の農家全体の意識や意欲も変わってくるのではないかと思います」



自家栽培した野菜を使ったテル子さんの手料理（ネギ汁もち、カブの酢漬け、ホウレンソウのお浸し）

3月・4月は住民異動シーズン

届け出をお忘れなく

■住所変更などの主な届け出

こんなとき	届け出の種類	届け出に必要なもの	届け出期限
村外から移ってきたとき	転入届	□転出証明書(前住所地で発行) □国民年金手帳(加入者のみ)	本村に来てから14日以内
村外へ移るとき	転出届	□国民健康保険証(加入者のみ) □印鑑登録証(登録者のみ) □転出先の住所	村外に移る前に
村内で住所を変更したとき	転居届	□国民年金手帳(加入者のみ) □国民健康保険証(加入者のみ)	引っ越した日から14日以内
世帯主が変わったとき	世帯主変更届	□国民健康保険証(加入者のみ)	変更した日から14日以内
加入している保険が変わったとき	取得届	□国民健康保険証(世帯に加入者がいる場合) □資格喪失証明書	異動した日から14日以内
	喪失届	□国民健康保険証 □新しい保険証	異動した日から14日以内

※印鑑はどの届け出にも必要ですので、忘れずに持参してください。

3月から4月にかけては、転勤や就職、進・入学などにより住民異動が多くなります。この時期、初めて住所変更する方も多いことでしょう。

正しい住所を届けていないと、国民年金や国民健康保険、児童手当などの給付が受けられなくなる場合があります。さらに、お子さんの入学などさまざまな場面において影響が出てきてしまいます。

右の表に該当する方は、届け出の種類に応じて必要なものを持参し、役場住民福祉課窓口で異動の手続きを行ってください。

また、国民健康保険や国民年金に加入している方は、保険証や年金手帳も忘れずに持参してください。

問 村住民福祉課住民係☎49-3113

国民年金 保険料免除の手続きをされた方へ

〈国民年金保険料免除〉

承認期間 7月から翌年6月までの1年間

継続方法 毎年7月に申請を行う必要があります。しかし、申請書の継続希望欄に「はい」と記入することにより翌年度以降は申請をすることなく審査を受けることができます。

免除審査 ①申請者本人②申請者の配偶者③世帯主のそれぞれの前年所得を確認して審査を行います。※未申告の場合は審査できませんので、毎年必ず所得申告を行ってください。

〈学生納付特例免除〉

承認期間 4月から翌年3月までの1年間

継続方法 毎年、申請手続きが必要です。申請書に記入した「在学予定期間」に基づき、毎年3月末ごろにハガキ形式の申請書が郵送されますので、記入して返送してください。

ただし、4月中旬になっても申請書が手元に届かない場合や学校が変わった場合、在学予定期間を延長した場合などは、学生証の写しを添えて改めて申請手続きを行ってください。

追納制度 学生納付特例の承認を受けた期間が10年以内の場合、後から保険料を納付(追納)することにより将来受け取る老齢基礎年金が増額します。

■**審査結果**

日本年金機構で審査を行い、審査終了後、「結果通知書」が送付されます。審査などには2～3カ月程度かかります。審査結果が出るまでの間、行き違いで納付案内書などが送付される場合がありますが、手続き期間中は納付書を保管してください。

問 村住民福祉課住民係☎49-3113／白河年金事務所国民年金課☎0248-27-4161

仮設焼却炉監視委員会を設置

村では、環境省が設置する仮設焼却炉に対して、安全運転の確認と関係機関の情報共有を目的に「鮫川村仮設焼却炉監視委員会」を設置。第1回目の会議を1月21日に開催しました。

会議には、村議会議員および行政区長が出席し、今後、各行政区から1名ずつ公募で選出した住民の計25名で構成します。監視体制については、仮設焼却炉周辺の空間線量および表面汚染度測定を週1回、バグフィルター出入口の放射性セシウム濃度測定の立会を月2回実施。また、村独自として、排ガスの放射性セシウム濃度測定を年2回、河川水および土壌の放射性物質濃度測定を月1回行います。

なお、これらの測定結果については、村広報紙およびホームページで公表していきます。

問 村地域整備課環境係☎49-3196



第1回仮設焼却炉監視委員会

内部被ばく検査を実施しました

県では、県民の安心・安全と将来の健康管理のため、ホールボディカウンター車による内部被ばく検査を実施しています。

鮫川村においても1月22日から2月9日までの期間中、村公民館で行われ、対象となった4歳から18歳までの子どもおよび妊婦419人が受診。検査内容の説明を受けたあと、体表面検査、ホールボディカウンターによる検査が行われました。

今回の結果については、同意書に記載された住所に郵送されます。また、データは県民健康管理調査の受託先である福島県立医科大学に保管。原子力発電所事故によって環境に放出された放射性セシウムから一生のうちに受けると思われる線量を推計し、今後の健康管理に役立てられます。

問 村住民福祉課健康係☎49-3112



ホールボディカウンターによる検査

予防接種はお済みですか

二種混合、三種混合、四種混合、不活化ポリオ、日本脳炎およびMR（はしか・風しん）の定期予防接種が期間内に済んでいないお子さんは、早めに接種しましょう。

母子健康手帳の確認をお願いします。

〈MR（はしか・風しん）〉

対象者 ①1歳～2歳未満／②幼稚園児／③中学1年生／④高校3年生 ※③、④を対象とした定期予防接種は今年度で終了となります。

接種期間 ②～④は3月31日(日)まで ※期間終了後は全額自己負担となります。

〈日本脳炎予防接種の特例接種〉

定期接種対象者以外で平成17年からの積極的勧奨の差し控えにより、過去に1期、2期の予防接種が完了していない平成7年4月2日～平成19年4月1日までに生まれたお子さんは、不足分を定期の予防接種として受けることができます。

問 村住民福祉課健康係☎49-3112

大判かるたとりなどを楽しむ
こどもセンター「お正月ゲーム大会」


勢いよくかるたに飛びつく子どもたち

さめがわこどもセンターの「お正月ゲーム大会」は1月23日に行われ、園児たちはさまざまなゲームを楽しみました。

コマ回し大会やすごろくみかんとり、大判かるたとりなど趣向を凝らしたゲームに子どもたちは夢中になっていました。

東石1が連覇を果たす
第4回村長杯争奪クロリティー大会


得点を競い合ったクロリティー大会

村老人クラブ連合会主催の第4回村長杯争奪クロリティー大会は2月15日、村公民館で行われ、東石1が連覇を果たしました。

大会には、29チームが参加。予選を勝ち抜いた11チームが決勝トーナメントに進出し、得点を競い合いました。

間近で見るフクロウに興味津々
保護されたフクロウを放鳥


フクロウを観察する子どもたち

2月7日、鮫川小学校裏でフクロウの放鳥が行われました。このフクロウは数カ月前、西山字水口地内で骨折していたところを保護されました。放鳥には、鮫川小学校の児童約30人が集まり間近でフクロウを観察。360度回る首などに興味を示していました。

村民の安心安全のために役立てて
鮫川駐在所に災害対策用テレビを寄贈


駐在所に寄贈されたテレビ

棚倉警察署鮫川駐在所に、災害対策用としてテレビ1台が寄贈されました。

寄贈したのは同駐在所連絡協議会で森正紀会長は「災害や事件が発生した際に、いち早く情報収集を行い、村民の安心安全のために役立ててほしい」と話しました。

村政TOPICS

交流

東京都北区で鮫川の魅力を発信


村の魅力を説明する「食彩」のメンバー

東京都北区主催の「食育フェア2013～見て・聞いて・ふれて・味わう～」は一月二十七日、東京都北区の赤羽会館で開かれました。

このイベントは、楽しみながら「食」への関心を高め、理解を深めてもらうことを目的に開催。鮫川村は今回が初めての参加となりました。村特産品の販売のほか、北区健康づくり栄養グループ「食彩」（青田照子代表）が昨年六月に「農村体験ホタルツアー」で本村を訪れた際に体験したことなどを来場者に紹介し、鮫川村の魅力をアピールしました。

今後も、都市と山村の立

ほっとニュース

「西山ほっと」「東石ジャガーズ」が熱戦制す
第14回村親善インディアカ大会

村体育協会主催の第14回鮫川村親善インディアカ大会は１月27日、村農業者トレーニングセンターで行われ、男女混成の部で「西山ほっと」、40歳以上の部で「東石ジャガーズ」が優勝しました。また、大会に先立ちスポーツ振興に功績のあった個人や団体にスポーツ功労賞が授与されました。

なお、２月17日に塙町で行われた第14回東白川町村親善インディアカ大会では、村代表として出場した「西山ほっと」が準優勝、「西山2013」が３位に入賞しました。

【受賞者・敬称略】▶**功労賞**…北條伊佐美、関根貴、矢吹孝二、舟木正二、蛭田玲於、蛭田みな美、石塚富士子▶**特別功労賞**…村バレーボールスポーツ少年団**【大会成績】**▶**男女混成の部**…①西山ほっと（西山）②西山2013（西山）③西野ファーマーズ（西野）▶**40歳以上の部**…①東石ジャガーズ（東石）②渡瀬ＯＢ（渡瀬）③青生野Ｂ（青生野）







1　熱戦が繰り広げられたインディアカ大会／2　スポーツ功労賞授与／3　郡インディアカ大会で準優勝した西山ほっと

ふるさと談義で親睦深める
第27回東京鮫川会総会・新年会

第27回東京鮫川会総会は１月26日、東京都の新宿住友ビルで行われました。

会員・村関係者など約100人が出席。総会では、茨木会長が「今後もふるさと鮫川村との交流を深めていきたい」とあいさつ。続いて、大樂村長、前田村議会議長ら来賓が祝辞を述べました。議事では、平成24年度事業報告および収支決算、平成25年度事業計画および収支予算について審議され、原案のとおり承認されました。

総会終了後、恒例の新年会が催され、ふるさと談義に花を咲かせながら親睦を深め合いました。





上…大勢の会員が出席した総会
左…和やかな雰囲気で行われた新年会

村政TOPICS



「入選」に選ばれた「広報さめがわ」

広報

県広報コンクールで「広報さめがわ」入選

福島県と福島県広報協会主催の「第五十八回福島県市町村広報コンクール」の審査会が１月二十四日、県庁で開かれ、鮫川村が広報紙（町村の部）で「入選」しました。今回受賞したのは、「地域を見つめる。」と題した特集で鮫川村の魅力に迫った「広報さめがわ」平成二十四年十二月号。特集の内容を含め、広報紙全体の構成や充実度などが評価されました。

このたびの受賞は、村民の皆様をはじめ、各関係機関のご支援、ご協力によるものであり、紙上より厚く御礼申し上げます。

今後とも、皆様に親しまれ、役に立つ広報紙づくりを目指しますので、ご協力をお願いいたします。

地条件の違いを生かして交流を進めていきます。

KAZUSHI YUZA



ゆざ・かずし●昭和43年3月生まれ。赤坂中野字真坂在住。白河日東工器㈱（白河市）勤務。趣味は野球。「日々努力」を心掛けている。

村民【随想】リレー ―176

湯座和志さん

野球を通して

鮫川スポーツ少年団の学童野球部を指導し、今年で五年目になります。長男が四年生のときに入団し、それから週末は子どもたちと一緒にボールを追いかけています。初めはボールを怖がっていた子どもたちが、いつの間にか大人顔負けのプレーをするように成長していきます。子どもとの親子対決はいつも真剣勝負です。思い切り投げたボールを打ち返されたときは本当にうれしいものです。

鮫川は子どもの人数が少なく試合には経験の少ない選手や下級生が出場しないといけません。なかなか勝利には遠いですが、昨年は劇的な勝利が訪れました。小さなチームが最終回に七点差をひっくり返してサヨナラ勝ちをしたのです。上級生がチームバッティングをし、初めて試合に出た選手がダイヤモンドを走り、入ったばかりの三年生が大きな声で声援を送っていました。野球はツーアウトからと言いますが、鮫川っ子のパワーを見せつけられた試合でした。

今年は次男も六年生になり、スポ少も最後の年となります。野球を通して、スポーツの楽しさや悔しさ、友情などを育み、大人になっても野球を楽しめるような指導をスタッフともにできたらと思います。■

次は、藤田芳明さん（赤坂西野字岡田）にバトンタッチ！

俳句

ろう梅に七つの影のめじろ飛ぶ　中井　恒峯
大寒や紙漉職人大往生　斎須　信子
小鳥達寒さに堪えて春を待つ　小松ハル工
帰京の子着きしや細雪暮る　黒田　寿香
明け方の夢かうつつか寒の雨　鈴木　米子
南部鉄ひとりそばえる囲炉裏端　土　竜庵
穏やかに里山包む冬日影　前田　縫子
佐渡裕踊るが如く指揮を執る　北條素人坂
孫立礼スーツきりりと成人式　松本　精一
直売所パックに入ったふきのとう　山本　恵子
亡き父の声懐わるる鬼やらい　山本五十鈴

短歌

避難所のドキメンタリに胸打たる　援け合う絆は復興の力　鈴木イミ子
断く為せばかくあるものと思わずやいつまで続く弱腰外交　前田　初
社会学級の研修は松島　島廻り魅せられてゆく松のみどりに　佐藤　春枝
軒下の子つばめの巣の賑やかに餌待つ口元四つが並ぶ　矢吹　定子
冬の花雪を成らせて一時の光ちりばむ　庭の木々たち　須藤　幸子
体重をとかく気にする齢となり選ぶ野菜のあれこれ多し　水野　珠子
来ぬ人の影を追いつつ庭先に出づればちちと小鳥らの群れ　関根　瑞恵

さめがわを彩る集い 9

集落の女性たちが卓球で親睦深める



卓球やっ会

岩野草女性卓球愛好会／会員10名

毎週金曜日、岩野草集落の女性たちが集まり、卓球で汗を流しています。活動が始まったのは昨年の十一月。集落の集まりの際に、卓球台があることに気付き「毎週集まってやろう」と何気なく言ったことがきっかけとなりました。

活動を始めて数回。ラケットを握るのは学生時代以来という人からまったくの初心者という人までいます。「最初は空振りばかりでしたが、やっとラリーが続くようになってきました」とうれしそうに話します。

「来られるときに気軽に集まっています。親睦を深めることが一番の目的です。卓球をやるときは、みんな真剣。そして、休憩をしながらおしゃべりをするのが楽しみなんです」と和気あいあいとした雰囲気が伝わってきました。

Book

図書の缶詰

図書館からおすすめの本をご紹介
鮫川村図書館（村歴史民俗資料館内）
☎49-3106

なでし子物語

（伊吹有喜著、ポプラ社）



目を閉じて我慢すればいい…そうすればいつか終わる。大人の勝手な都合に振り回され、居場所のない少女と体の弱い少年。暖かい輪の中で少しずつ顔をあげて美しく生きることを学んでいく。やらまいか！新しい自分をつくるんだ！

天皇陛下と皇后美智子さま 至高の愛の物語

（今田龍子著、ハースト婦人画報社）



「語らひを重ねゆきつつ気がつきぬわれのこころに開きたる窓」と詠まれた美智子さまとのご婚約から50余年。おふたりの祈り、語らい、慈しみ…大きな愛の軌跡の写真集です。

第3土曜日は 家族一緒に読書の日

大雪の日には群れ来る小鳥たち南天の実が餌となるらし　溝井　清乃
冬の仕事少なくなりぬテレビなど観てる茶の間を覗く雲かげ　坂本　伊紀
老いというこの境遇に甘えずのべンの仕事の厳しさに生く　一平　子
淡き陽をうけて一人の部屋に居て思いめぐらす夫との日々を　石井　幸子
巡り来し春の集いのクロリティー熱気に溢れ老い等は励む　須藤シツエ
黄昏て哀愁さそう童謡に児童生徒の影は見受けず　松本　一郎
新年を子供と共に迎えられ平和の喜び感謝の極み　前田喜三子
原発事故有害物を撒き散らす被爆を避ける心配りを　藤田千代子
子等帰り二人に戻りて小正月鉢植えの梅夫と眺むる　関根ハナヨ
豪雪もいつかな消えて春息吹く仄かな陽を受け福寿草咲く　関根　富久
被災地の住み居る家族の映像に厳寒思いば悲惨の伝わる　鷲野谷　満
人あらばその数なりのチームあり八十路の面々輪投げ競えぬ　板橋　源良
閉め切りし戸を開け放ち背伸びする陽差し明るき大寒の朝　関根キヌ子
浅川の大晦日花火の音止めば遠くに除夜の鐘の音聞こゆ　矢吹　一二
豪雪の消えずも光り和らぎて小鳥の囀りひときわ賑わう　北條　平

むらの
名人・達人
Vol. 8

つる籠作り名人
蛭田吉郎さん
ひるた・よしろう／渡瀬字田野上在住／74歳

ただ捨てるのはもったいない。まったく同じものができないのが魅力



アケビの「つる」で作ったつる籠。自宅の部屋のあちらこちらに飾られています

「つる」を編んで作る「つる籠」作り名人の蛭田吉郎さん。

「山の手入れをしていたときに、木などに絡まっている『つる』を切っていて、ただ捨てるのはもったいないと思いました。何か利用できないかと考えたことがきっかけです」

独学で作り始めた吉郎さん。「最初は、編んではほどいての繰り返しで、試行錯誤しながら作りました」。籠に台を付けるのは吉郎さんのオリジナル。籠をより安定させるためのひと手間を加えています。

つる籠作りをするのは冬期間。「夏は『つる』に虫が入ってしまうし、編むには適度に水分が抜けているこの時期がちょうどいいんですよ」と教えてくれました。

材料となる「つる」は、藤や山ブドウ、マタタビ、アケビなど弾力性のあるものを使います。その中でもアケビは真っすぐ育たず節があったりするので、完成したときの形が面白いと、吉郎さんのお気に入りです。

「『つる』は一つ一つ形が違うので、籠もまったく同じものができないのが魅力です。知り合いなどにも喜んでもらえます」



はじめに籠の部分を編み、その後に台を作り「つる」で固定します

若者の広場　No.99

Young Plaza

矢吹雄太さん



やぶき・ゆうた
平成３年11月４日生まれ　21歳
Ａ型　さそり座
趣味はスポーツ
赤坂中野字宿ノ入在住

良い話題で注目される村に

■今、夢中になっていることは何ですか？

会社内では、周りに車好きの人が多いので、その影響を受けて車に興味を持ち始めました。

■これから新たにやってみたいことや目標はありますか？

スポーツが好きなので、何か体を動かせる趣味を新しく見つけたいです。小学生のときから続けている野球のほかにフットサルにも挑戦してみたいです。

■村に住んでいて感じることや現在の村について思うことはありますか？

ちょっとした物を買うにも村外まで行かないといけないので不便だと思います。でも、それ以外は特に不便だと感じるようなことはありませんね。

■これからの鮫川村に望むことはありますか？

新聞で村の給食センターが全国大会に出場した記事を見ました。そんなふうに良い話題で「鮫川村」という名前を広めていってほしいです。もっと村外から注目されるような村になればと思います。

■

次は溝井明菜さん（赤坂東野字大竹在住）の予定です。

学校だより

〈101〉

鮫川小学校編

福は内！「豆まき集会」

五年生三十一人が各学年各学級へ出向いて「豆まき○×クイズ」「お笑い劇」「豆まきの紙芝居」など、グループごとに創意工夫を凝らした企画で楽しませてくれました。その後、元気な声で「鬼は外！福は内！」と叫んで豆をまくと、子どもたちは夢中になって豆を拾っていました。活気あふれる「さめっ子」たちの姿に福の神もにっこりとほほ笑んだことでしょう。



豆まきをする５年生

チームワークを披露「なわとび集会」

低学年から高学年までの縦割りチームによる「二分間の一斉とび」「三分間の連続跳び」の二種目で十八チームの対抗戦を行いました。体の小さな一年生も六年生に背中をリズムよく押してもらいながら上手に跳びました。二種目を合わせて二百七十九回跳んだ七班が優勝し、チームワークの良さが認められ、みんなの喝采を浴びました。



なわとび集会

春から新１年生「１日入学」

「○○さん」、「はい」。本校へ入学予定者三十人の元気いっぱいの声が響き渡りました。本校の一年生と二年生の歌や呼びかけなどの歓迎を受けて、四月の入学式がますます楽しみになってきたようです。

（文・写真／鮫川小学校）



１日入学

情報BOX

暮らしに役立つ身近な情報をピックアップ！

ⓘ案内

村体育施設・公民館 団体使用料を減免します

村体育施設および村公民館を年間通して使用し、使用料減免の対象となる団体を使用料減免団体として登録します。

減免を希望する団体は、次により使用料減免申請書を提出してください。

減免期間　平成25年4月1日以降で使用許可申請書提出日から平成26年3月31日まで

申請方法　村教育委員会にある申請書に必要事項を記入し、団体会員名簿を添えて提出してください。

提出期限　年度最初に使用する日の1週間前まで

問　村教育委員会教育課☎49-3151

119番の受付先が変わります

平成25年4月1日から「消防指令センター」が本運用を開始します。それに伴い、次の点が変わります。

①各消防署で受け付けている119番通報が、「消防指令センター」で受け付けとなります。

②「統合型位置情報通知装置」により通報した場所を瞬時に特定し、最も近い緊急車両が出動します。通報から到着までの時間が短縮されることにより、迅速な消防・救急・救助活動が行われ、皆様の安心・安全を守ることができます。ご理解とご協力をお願いいたします。

問　白河地方広域市町村圏消防本部総務課通信指令準備室☎0248-22-2157

3月1日から7日まで 春季全国火災予防運動

「消すまでは　出ない行かない離れない」をスローガンに火災予防思想の普及を目的に行われます。

火災の発生しやすい時季を迎えるにあたり、尊い命と貴重な財産を火災から守りましょう。

問　棚倉消防署鮫川分署☎49-2119

自動車の移転・抹消の手続きをお忘れなく

自動車税は毎年4月1日現在の車検証に登録されている所有者に課税されます。

廃車や名義変更、住所変更などの手続きは3月末までに運輸支局などで手続きを行ってください。

手続きが終了しないまま4月1日を迎えると平成25年度も前年度同様に課税されますので、該当する方は早めに手続きをしてください。

問　県南地方振興局県税部課税課☎0248-23-1519

8日は歯の日

防災無線でむし歯予防を呼びかけます。

3月の担当は――

鮫川小学校
保健委員会（6年）

佐川　愛さん
鈴木　楓花さん
湯座　真代さん
矢吹　瑞樹さん



■電話番号

鮫川村役場（代表・総務課）
☎　0247-49-3111
FAX 0247-49-2651

住民福祉課	
健康係	49-3112
住民係・福祉係	49-3113
農林課	49-3114
企画調整課	49-3115
地域整備課	
建設係	49-3116
環境係	49-3196
農業委員会	49-3197
議会事務局	49-3198
出納室	49-3199

【その他の機関】

教育委員会	49-3151
図書館（歴史民俗資料館内）	49-3106
農業者トレーニングセンター	49-3295
学校給食センター	49-2113
こどもセンター（保育園・幼稚園）	29-1010
国保診療所	49-2028
ほっとはうす・さめがわ	48-2555
手・まめ・館	49-2556
山王の里	48-2848

■鮫川村公式ホームページ
http://www.vill.samegawa.fukushima.jp/

information

東日本大震災犠牲者の追悼式を行います

県では、東日本大震災で犠牲となられた方々へ哀悼の意を捧げるため、福島県文化センターにおいて追悼式を行います。この模様を放映するとともに記帳所を設置します。

開催日 3月11日(月)

会場 白河市立図書館多目的ホール

時間 ①記帳所…午前9時～午後5時／②追悼式の中継…午後2時30分～午後3時30分

問 県南地方振興局☎0248-23-1524

保健・福祉

「エコチル調査」にご協力ください

近年、子どもたちの間でぜんそくやアトピー性皮膚炎など、生活環境の中にある物質が原因の一つと考えられる病気が増えています。環境省では、その原因を明らかにし、有効な対策を講じるため2011年1月から「子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）」を開始しました。

調査内容 ①調査は、妊娠初期からお子さんが13歳になるまで実施します。／②子どもたちと両親には、血液や尿の採取、質問票の記入などをお願いします。

問 エコチル調査コールセンター☎0120-327-735（平日：午前9時～午後5時）

高額な外来診療を受ける皆さまへ

平成25年4月1日から高額な外来診療を受けたとき、限度額適用認定証などを提示すれば、限度額を超える分を支払う必要がありません。また、保険薬局、指定訪問看護事業者についても同様の取り扱いを受けることができます。

70歳未満の方と70歳以上の非課税世帯などの方は、事前に医療保険者から限度適用認定証などの交付を受ける必要がありますので、詳しくは加入している医療保険者にご相談ください。

問 村住民福祉課住民係☎49-3113

平成25年度 筋力づくり教室参加者募集

対象者 村内に居住する65歳以上の高齢者のうち、次に該当する方（原則として、介護保険によるサービスを受けている方は除きます）／①足腰が弱くなってきたと感じる方／②外出がおっくうになってきた方／③運動する機会が少ない方

場所・時間 村保健センター・午前10時～午後3時

参加費 1回につき800円（昼食や創作活動などの材料費）

内容 ▼月に1～2回実施 ▼健康運動、創作活動、健康講話など

申し込み 3月15日(金)までに役場住民福祉課福祉係に申し込んでください。

問 村住民福祉課福祉係☎49-3113

◆◆◆いきいき健康通信◆◆◆

「食べ物」と「心」の深い関係

■心の変化は脳の変化

脳にはたくさんの神経細胞が集まっていますが、そのなかには感情や感覚を伝える神経細胞もあります。そのため心や感情は脳がつくっていると言えます。担当するのは興奮系、抑制系、調整系の神経細胞で、この3つの神経から出される神経伝達物質のバランスによって、心や感情は変化します。このバランスが取られていると心は健全に保たれますが、どれかが過剰に分泌されたり、不足したりすると症状となって表れてきます。

■心は食べ物でできている

私たちの心、すなわち脳は、一般成人が全身で使うエネルギーの約20%を消費しています。そのため、脳細胞は食べ物の影響を受けやすく、栄養バランスが悪いと「脳=心」の健康維持も難しくなります。身体（脳）の栄養状態を調べ、不足している栄養素を見極め、それを補うことで精神疾患を改善していく「栄養療法」という方法があるほど、食べ物と心は深く関係しています。

神経伝達物質をつくる二大重要栄養素は、たんぱく質とビタミンBです。しかし、これらの栄養素は脂質が多く含まれているものでもあるため、食べ過ぎには注意が必要です。

■甘い物にご用心

疲れたとき、ストレスを感じたときに甘いものが食べたくなりますが、これは脳が疲れやストレスから回復するためにエネルギー源である糖質を欲しているからです。しかし、糖を摂取することで血糖値が大きく変動した場合や調節がうまくいかない場合には、動悸やイライラ、疲労感、うつ気分などの精神的な不安定を招きます。そのことがストレスとなりまた甘いものを食べてしまうといった悪循環を招きやすくなります。どうしても甘いものが食べたいときには食後に摂るようにし、血糖値の上昇を防ぐようにしましょう。

春は進学や就職、異動などに伴う生活環境や人間関係、社会での役割などの環境の変化が大きくなることから、精神面が極度に不安定になりやすい季節でもあります。普段食べている物を意識することで心の安定を保つよう心掛けてみてはいかがでしょうか。

（文：村住民福祉課　蛭田保健師）

March 3

㊡＝休日当番医　[歴]＝歴史民俗資料館　[公]＝公民館　[図]＝図書館　[保]＝保健センター
[ト]＝農業者トレーニングセンター　[ほ]＝ほっとはうす・さめがわ　[こ]＝こどもセンター

火	水	木	金	土
			3/1 ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保] ●やまゆり保育室[こ]	2
5 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面）	6 ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●手・まめ・館休館日 ●やまゆり乳児室[こ] ●やまぶきの会… 10:00～15:00[保] ●おはなしの森… 15:30～／鮫川小	7 ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保]	8 ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保]	9 ●チャレンジスクール 閉講式…9:30～[公]
12 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面） ●10カ月児健診・お母さんの口腔健康相談 …9:30～[保]	13 ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●中学校卒業証書授与式 ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保] ●おはなしの森… 15:30～／鮫川小	14 ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保]	15	16
19 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面） ●心配ごと相談… 13:00～15:00[公] ●水墨画講座… 13:00～[公]	20 春分の日 ㊡あらまちクリニック （棚倉町）☎33-8018 ●図書館休館日 ●トレセン休館日	21 ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●幼稚園卒園式 ●農業委員会総会	22 ●各小学校卒業証書授与式・修了式 ●中学校修了式	23
26 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面）	27 ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面）	28 ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●保育園修了式	29	30
2 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面）	3 ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●手・まめ・館休館日	4 ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面）	5	6

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

お誕生

1月届け出分・敬称略



岡部（おかべ）　七菜（なな）・女
平24.12.27生
住所…茅
保護者…貴浩・晴美



中川西（なかがわさい）　叶翔（かなと）・男
平24.12.27生
住所…中内
保護者…健太・香央里

おくやみ

1月届け出分・敬称略

住所	氏名	月日	年齢
広畑	矢吹　カツ	1.7	83歳
真坂	湯坐　ハツ	1.13	99歳
大久保	生田目幸治郎	1.16	94歳
薮	星　弘	1.19	97歳
大竹	溝井　一雄	1.30	53歳

人の動き

2/1現在・（　）は前月比

人口	3,974人	（−11）
男	1,985人	（− 4）
女	1,989人	（− 7）
世帯	1,154戸	（− 3）

寄付寄贈

1月受理分・敬称略

■**社会福祉事業のために[金員]**…矢吹宏（郡山市）　湯坐照雄（真坂）　生田目友信（大久保）　中川西一美（森ノ前）
■**ひだまり荘に[タオル]**…緑川ふく（浅川町）
■**ひだまり荘に[ゴミ入れ]**…水野博和（広畑）
■**さめがわこどもセンターに[タオル]**…中野長生会（鈴木一良会長）

※お誕生・おくやみ・寄付欄への掲載を希望されない方は、届け出の際に申し出てください。

■訂正とおわび
①広報さめがわ2月号の5ページ中、増子麻美さんの取得予定資格に誤りがありました。正しくは「理学療法士」です。
②9月号以降、本ページ「人の動き」表中の男女を逆に表記していました。
ここに訂正し、おわび申し上げます。

●編/集/後/記

■今回、県広報コンクールで「入選」をいただけたこと、改めて皆様のご協力に御礼申し上げます。■取材に行った先では、「寒いから早くこたつに入りな」と温かく迎えていただきます。このように取材を受けてくれる方や情報提供してくれる方、印刷所さん、広紙報を配ってくれる方、そして広報紙を読んでくれている皆さん。多くの人の力を借りて毎月発行できているのだと強く実感した1カ月でした。（前田）

ⓘ暮らしのカレンダー

日	月
3 ㊡おおひら整形外科クリニック（棚倉町） ☎33-9468 ●火災防御訓練…6:30～／さぎり荘 *第1日曜日は環境美化の日*	**4** ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●献血…①9:30～13:00 ②14:30～17:00／役場前駐車場
10 ㊡塙厚生病院（塙町） ☎43-1145 ●パッチワーク講座…10:00～[公]	**11** ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●3～4カ月児健診・BCG接種・お母さんの口腔健康相談…13:30～／塙厚生病院 ●手しごと講座…13:30～[公]
17 ㊡木村医院（矢祭町） ☎46-3528 ●カラーセラピー講座…10:00～[公] ●パッチワーク講座…13:00～[公]	**18** ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●手しごと講座…13:30～[公]
24 ㊡和田医院（棚倉町） ☎33-2012 ●パッチワーク講座…10:00～[公]	**25** ●図書館休館日 ●トレセン休館日
31 ㊡東舘診療所（矢祭町） ☎46-3165	**4/1** ●図書館休館日 ●トレセン休館日

さみがわ
(Gate)
Public Relations SAMEGAWA
3 March 2013
平成25年3月1日発行（毎月1日発行）
第707号（昭和27年9月創刊）
発行／福島県鮫川村　編集／鮫川村役場企画調整課
〒963-8401　福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地5

金婚を迎えたご夫婦を紹介



半世紀の歩み Episode_02

水野 正さん キクさん

西山字追木在住／昭和37年3月結婚

お互い、同じ農業高校に通っていました。そこで、恩師が鮫川同士ということもあって紹介してくれたことがきっかけです。

50年の結婚生活は、長いようであっという間でした。代々、続けてきた葉たばこ作りや子育てなど、夢中でやっていたら気が付けば50年経っていましたね。

1つの目標に向かって2人で協力してこられたことがよかったです。これまでを振り返ってみても苦労だと思ったことはありません。

お互い農業が好きなので、これからも無理せず続けていきたいです。孫たちも作る野菜を楽しみにしてくれているので、ゆっくりのんびり農業をしていきたいです。　［談］

こちら 村長室

▼桜は夏に翌春咲く花芽を形成する。秋に休眠に入った花芽は、冬の寒さに休眠から覚め、春の気温の上昇とともに成長し開花する。冬の厳しい寒さに耐えることができたから春に美しい花を咲かせることができる。植物の自然界での営みである。▼今、私たちも冬の寒さに、そして東日本大震災、原発事故がもたらした放射能の汚染に耐え、苦難を乗り越えようとしています。村では、二年計画で村内全域の一時間当たりの空間線量率を〇・二三マイクロシーベルト未満にする除染実施計画を進めています。環境省の設置する仮設焼却炉で、落ち葉や堆肥などの農林業系廃棄物、住宅敷地内除染物などを安全に処理し、減容化を図りながら村内の除染作業を進めます。▼村民皆さんの参加と協力が除染実施計画を遂行する上で必要不可欠です。一日も早く放射線の心配のない村に戻すため、一歩踏み出すこの施策にご理解をお願い申し上げます。

大樂勝弘